

競技注意事項(案)

1. 規則について

本競技会は 2018 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会競技注意事項により実施する。

2. 招集について

- (1) 1 次招集は競技場の室内練習場内の競技者係で行う。競技者本人が自分のレーン番号に○付けを行う。その時ナンバーカードと腰ゼッケンをつけたユニフォーム上下、スパイクを掲示すること。
- (2) 1 次招集時刻は以下の通りである。

種 目	開 始 時 刻	完 了 時 刻
トラック・リレー種目	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
跳躍種目(棒高跳以外)	競技開始 60 分前	競技開始 50 分前
投擲種目	競技開始 50 分前	競技開始 40 分前
棒高跳	競技開始 90 分前	競技開始 80 分前

- (3) 2 次招集は現地にて行う。トラック種目は競技開始 10 分前、フィールド種目は 30 分前とする。
- (4) リレー種目のオーダー用紙は、1 次招集完了の 1 時間前までに、競技者係まで提出すること。リレーの招集は 4 人とも受けること。尚、同じデザインのユニフォームで受けること。
- (5) 同一時間に 2 種目以上出場する競技者は、招集時間内に重複出場届（競技者係、受付にて配布）を競技者係に提出すること。尚、出場種目の重複により 1 次招集に来られない場合は代理人が 1 次招集を受けなければならない。
- (6) 欠場は原則として認めない。しかし、やむを得ず欠場する場合は総務と競技者係に欠場届を提出すること。

3. 当日エントリーについて

- (1) 当日エントリー希望者は出場希望の種目が行われる **当日の午前 7 時 30 分から 1 次招集開始時刻の 1 時間 30 分前までに**、受付に申し出ること。ただし午前 7 時 30 分から午前 8 時 30 分までは **競技場 1 階の正面玄関前にて行う。**尚、**午前 10 時 15 分までに開始する種目については 8 時 00 分に受付を締め切る**ので注意すること。（当日エントリー一覧表参照）
- (2) 当日参加者も 1 次招集を必ず受けること。
- (3) 運営上の都合により、当日申込を行わない競技が出てくる可能性もあるので注意すること。また、受付終了時間になる前に制限人数に達した種目はその時点で受付を終了する。終了種目は受付で掲示するので確認すること。

4. ナンバーカードについて

- (1) 平成 30 年度関西学生陸上競技連盟登録者は連盟登録のナンバーカード
高体連登録者は高体連登録のナンバーカード
陸協登録者は陸協登録のナンバーカード
を胸部、背部に付けること。（但し、跳躍種目においては胸部または背部だけでよい）
- (2) トラック種目については競技者係で配付する腰ナンバーカードを右腰部に明瞭に付けること。尚、このナンバーカードはゴール後直ちに回収する。途中棄権の場合は競技者係に返却すること。
- (3) 5000m については別ゼッケンを使用する。

5. トラック種目について

- (1) トラック種目は次のラウンドを行わない。
- (2) 全天候舗装のため 9mm 以下のスパイクピンを使用すること。
- (3) トラック種目は電気計時（1/100 秒）にて行う。但し、機器の故障などトラブルが生じた場合、手動計時（1/10 秒）に切り替える場合がある。

6. フィールド種目について

- (1) フィールド種目の試技は 3 回とする。
- (2) 全天候舗装のため 9mm 以下のスパイクピンを使用すること。但し、走高跳・やり投については 12mm 以下とする。

- (3) 投擲種目はペグ計測とする。練習投擲は原則として2投までとする。但し、ハンマーは1投とする。また投擲審判主任が時間を考慮した上で変更する場合がある。
- (4) 男子の砲丸投・円盤投・ハンマー投に関しては大学生・一般者の試技を先に行い、高校生をその後とする。
- (5) 持参したやりを競技で使用する場合は、競技開始の90分前から60分前に南側用器具庫横にて行う検査に合格したものに限り使用を認める。
- (6) 三段跳の踏み切り位置は、男子はAピット **11m**、男子 Bピット **12m**、男子 Cピット **11m** とする。また、女子はAピット **9m** 女子 Bピットは **10m** とする。ピットの組分けはスタートリストを確認すること。
- (7) 高跳種目の公式練習は原則2回とする。また、練習の高さは審判員との協議の上、当日に決定をする。
- (8) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。尚、ここに記載されている高さより低い高さでの試技は、原則として行わない。

	種目	ピット	試技開始	備考
男子	走高跳	Aピット	1m85	5cm 刻み
		Bピット	1m50	2m10以降 3cm 刻み
	棒高跳	Aピット	3m00	20cm 刻み 5m00以降 10cm 刻み
	十種競技	走高跳	Aピット 1m70	5cm 刻み
			Bピット 1m50	1m80以降 3cm 刻み
	棒高跳	2m40	20cm 刻み	
4m00以降 10cm 刻み				
女子	走高跳	Aピット	1m55	1m65まで 5cm 刻み
		Bピット	1m30	1m69-1m72以降 3cm 刻み
	棒高跳	Aピット	2m60	20cm 刻み 3m60以降 10cm 刻み
	七種競技	走高跳	Aピット 1m45	5cm 刻み
			Bピット 1m20	1m55以降 5cm 刻み

7. 混成競技について

- (1) 別紙「十種競技申し合わせ事項」および「七種競技申し合わせ事項」に従うこと。競技時間の遅れなどは、アナウンスで連絡する。
- (2) フィールド種目の公式練習は原則1回とする。

8. 競技場使用について

- (1) 開門時間は両日 8時30分、閉門時間は両日競技終了後 30分後とする。
- (2) 使用器具は原則として、競技場備え付けのものを使用すること。
- (3) 競技場内の更衣室・備え付けのシャワーは使用可能である。
- (4) グラウンド以外はスパイクで立ち入らないこと。
- (5) 芝生内はすべて立ち入り禁止とする。
- (6) ポール・やりの事前郵送は認めない。ポール・やりの輸送に関しては、各団体の責任で行うこととする。尚、郵送をする場合は下記の宛先、期日に設定すること。

【宛先】〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園 1-1 万博記念競技場
「平成30年度第1回学連競技会」

【期日】平成30年8月2日(木) 9時~17時

- (7) 各自のポール・やりを大会期間中は競技場内に置くことができる。但し、各競技の最終日の17時30分にはすべて持ち帰ること。また、所有物に団体名を記入し、正面玄関のホール内左端に置くこと。但し、ポール・やりが破損した場合、主催者側は一切責任を負わない。

- (8) 器具の破損・紛失については、その選手及び補助員の所属団体、学校より必要代金を徴収する場合がある。
 - (9) 競技場のトラック・フィールド内には、審判員・補助員・選手以外の立ち入りを禁止する。
 - (10) 競技終了後、選手は指示に従って速やかに退場すること。またその際、大会本部前の通行は禁止とする。
 - (11) フィールド種目、リレー種目でマーキングに使用するテーピング等は、使用后必ず撤去し持ち帰ること。
 - (12) 全競技終了後、各団体は周りの清掃をすること。ゴミは各団体で持ち帰ること。
 - (13) トラック及びフィールド内での携帯電話・音楽再生機器・無線機などの持ち込み・使用を禁止する。
 - (14) 室内練習場は招集場所として使用するため、シート等を使っての場所取りはしないこと。また飲食禁止とする。
 - (15) 集団応援禁止区域を、競技会当日にフィールド種目の使用ピットによって決定する。
9. その他
- (1) 関西学生陸上競技連盟加盟校は割り当てられた学生審判・補助員の派遣をしなければならない。派遣をしなかった大学には以後の大会への出場を認めない。
 - (2) 競技中に発生した障害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以降の責任は負わない。但し、2018 年度日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。
 - (3) 荷物の管理は各自で行うこと。紛失・盗難に関して主催者側は一切の責任を負わない。
 - (4) 当日の気象状況によっては、総務の判断で大会を中止にすることがある。
 - (5) 陸上競技者としてのマナーを著しく逸脱した行為が見られる場合、その選手の所属団体、学校の以後の競技を中止させる。
 - (6) 競技中の選手に対する助言は競技規則第 144 条に順ずる。またフィールド競技に関しては現場の審判員が許可を与えた上でコーチ席にアドバイスを聞きに行くことができる。しかし、審判員の指示に従わない場合は選手・コーチに警告を与え、さらに続いた場合は審判長・総務・ヘッドコーチ等で協議し対処する。
 - (7) 当日エントリーの人数によっては競技日程の調整を行う場合がある。
 - (8) 欠場者の数によっては、再度番組編成を行う場合がある。
 - (9) 車ででの来場はできるだけ控え、公共の交通機関を利用し来場すること。
 - (10) その他、不明な点は主催者まで問い合わせること。

関西学生陸上競技連盟